

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
国 語	N 現 代 文	4	3	文系GA	1～4

教科書	『精選 文学国語』（三省堂）	副教材	『新訂総合国語便覧』（第一学習社） 『上級入試漢字』（桐原書店） 『読解を深める 現代文単語 評論・小説』（桐原書店） 『重要問題演習 現代文 2027共通テスト』（進研学参）
-----	----------------	-----	---

科目の目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>(3) 言語感覚を磨き、言語文化の担い手としての自覚を持ち、国語の能力向上を図る態度を養う。</p>
-------	---

科目の概要	<p>高等学校2年までの国語科科目の学習により育成された資質・能力を基盤として、創造的・論理的思考の力を伸ばしつつ、他者との意思疎通や共通理解、さらには課題解決に必要な言語運用能力を身につけ、効果的に表現する技術を獲得することを通じて、国語に対する理解を深るとともに言語文化の担い手としての自覚を深める科目である。</p>
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○言葉には、認識や説明を可能にし、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したか。 ○表現を通じて、語感を磨き、語彙を豊かにできたか。 ○文章の種類・特徴や技法について、体系的に理解しているか。 ○読書の効用と意義について、理解を深められたか。	○読み手の関心を引き出すような文章表現、文体、修辞の工夫ができているか。 ○作品の語りや構成等に注意して、内容の解釈ができているか。 ○多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねるなど、主題や主張を明確に理解、表現したか。 ○文章の解釈を通じて、人間、社会、自然などへの洞察を深められたか。	○社会的な話題や文学作品について、評価し、他者の考えを参考にしながら、論述したり討論することができたか。 ○先行する研究や作品を参考に、様々な観点を示したり、創作したり、批評したりできたか。 ○社会的な事柄や文学的事象について調べるなどして、成果を発表したり、まとめたりすることができたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、学期末・学年末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	◇小説（翻訳について考える） レベッカ・ブラウン/柴田元幸訳『涙の贈り物』 ◇大学入試問題対策演習 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	○読文体の特徴や表現の特色に注意して作品を読み、翻訳小説の魅力について考え、理解する。 ○外国文学を翻訳で読むことの意味を考える。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
	◇小説（時代背景を通して作品を読む） 梶井基次郎『檸檬』 ◇大学入試問題対策演習 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	○事物の描写に着目しながら、「私」の心情を理解する。 ○小説の舞台・時代背景を調べ、作品への理解を深める。 ○手記形式に注目しながら、小説の内容を読み取るとともに、登場人物の心情を理解する。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
2 学 期	◇評論 小林秀雄「無常ということ」 ◇大学入試問題対策演習 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	○文芸評論に特有の文体を意識しつつ、文章の構造と内容を理解する。 ○大学入試レベルの文章の構造理解や内容把握を可能とする国語の知識や技能を獲得し、あわせて思考力・判断力・表現力を伸長する。
	◇大学入試問題対策演習 共通テストだけでなく、国公立大の個別入試対策も行う。 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	○論理の展開を丁寧に分析し、筆者の主張を理解した後、自らの主張へと接続する能力を手に入れる。 ○文学作品の構成を明らかにしながら、その展開を把握する。 ○叙述や比喻表現等に注意を払い、登場人物の状況や心理を的確に把握する。
3 学 期	※特別編成授業（別途案内） 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	○受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 ○教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。